

# 学術大会

回	会期	大会長 準備委員長	メインテーマ・講演・シンポジウム	会場
第 7 回	2022 8/6	大会長：藤井一維 準備委員長：石井瑞樹 (日本歯科大学)	<p>次の当たり前</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●特別講演「35年前から訪問歯科診療が当たり前化していた日本歯科大学新潟生命歯学部 「大学附属病院が訪問歯科診療を継続できるポイント～歯科医師会と共存する」 吉岡 裕雄（日本歯科大学新潟病院訪問歯科口腔ケア科）</li> <li>●シンポジウム「1.5 次歯科医療機関（診療所）を考える」 シンポジウムの趣旨 尾崎 哲則（日本大学歯学部） 答申のポイント 永山 正人（日本歯科医学会新歯科医療提供検討委員会 前委員長） 専門医機構の立場から 今井 裕（日本歯科専門医機構 理事長） 大学の立場から 平田 創一郎（東京歯科大学） 一般演題 3 題</li> </ul>	オンライン形式
第 6 回	2021 8/28-29	大会長：福泉隆喜 準備委員長：深井康成 (九州歯科大学)	<p>2040 年を見据えた歯科保健医療行政の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●シンポジウム「第 7 次医療計画の中間見直しと在宅歯科医療提供体制の推進方策を考える」～検討会の「議論の整理」の具体化と第 8 次医療計画に向けて～ 趣旨説明とミニレクチャー 福泉 隆喜（九州歯科大学） 都道府県の視点から 遠藤 浩正（埼玉県本庄保健所） 市町村の視点から 仲山 智恵（北九州市保健福祉局） 関係団体の視点から 小玉 剛（日本歯科医師会） 訪問診療の現場の視点から 岩佐 康行（社会医療法人原土井病院 歯科・口腔外科）</li> <li>●モーニングセミナー「歯学部における社会歯科学領域の教育の現況」～この 30 年間の社会歯科学領域の教育の変化と実践例の報告～ 社会歯科学領域の教育の変化の概要 尾崎 哲則（日本大学歯学部） 東京歯科大学の現況 平田 創一郎（東京歯科大学） 九州歯科大学の現況 福泉 隆喜（九州歯科大学）</li> </ul>	オンライン形式

			<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別講演 「歯科口腔保健分野からみた医科歯科連携の重要性」－現場における公衆（歯科）衛生活動体験を通しての考察 遠藤 浩正（埼玉県本庄保健所）</li> </ul>	
第5回	2020 6/27-28	中止		
第4回	2019 6/16	大会長：山本龍生 準備委員長：淵田慎也 (神奈川歯科大学)	<p>ライフコースの視点から考える歯科保健医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●特別講演「小児歯科医療の最前線～口腔機能発達不全症に関する基本的な考え方」 木本茂成（日本小児歯科学会理事長・神奈川歯科大学）</li> <li>●シンポジウム「これからの障害児者の歯科保健医療提供体制を考える」 オーガナイザー： 井下英二（滋賀県衛生科学センター） 秋野憲一（札幌市保健福祉局保健所）</li> </ul> <p>報告1 北海道の障害児者の歯科保健医療提供体制事例 秋野憲一（札幌市保健福祉局保健所）</p> <p>報告2 滋賀県の障害児者の歯科保健医療提供体制 井下英二（滋賀県衛生科学センター）</p> <p>報告3 今後の日本に必要なと考える障害児者歯科医療提供体制のありかた 弘中祥司（昭和大学歯学部・日本障害者歯科学会理事長）</p> <p>一般演題 3題</p>	神奈川歯科大学付属横浜クリニック・横浜研修センター 7階大会議室
第3回	2018 7/1	大会長：平田創一郎 準備委員長：田代宗嗣 (東京歯科大学)	<p><b>これからの歯科医師供給体制を考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●基調講演「医学教育と歯学教育の変革」 眞鍋 馨（文部科学省高等教育局医学教育課）</li> <li>●シンポジウム「今後迎える歯科医師の地域偏在を考える ～卒前教育から生涯研修まで」 座長：石井拓男（東京歯科大学短期大学，社会歯科学会副理事長）</li> </ul> <p>話題提供1 大学教育の視点から 上田貴之（東京歯科大学）</p> <p>話題提供2 歯学部のない県行政の視点から 堀江博（奈良県福祉医療部医療政策局健康推進課）</p> <p>話題提供3 歯学部のない県の病院歯科口腔外科の視点から 薬師寺登（公立学校共済組合近畿中央病院）</p> <p>話題提供4 島根県の中山間地域における歯科医療機関について</p>	東京歯科大学水道橋校舎本館13階第1講義室

			<p>澄川裕之 (島根県歯科医師会)</p> <p>●一般演題 4 題</p>	
第 2 回	2017 6/11	<p>大会長：福田雅臣 (日本歯科大学生命歯学部)</p> <p>準備委員長：大島克郎 (日本歯科大学東京短期大学)</p>	<p><b>歯科の広がりを探求する</b></p> <p>●基調講演「足利赤十字病院における医科／歯科連携について」 小松本悟 (足利赤十字病院)</p> <p>●シンポジウム「歯科医療の広がりのための連携とは」 座長：尾崎哲則 (日本大学歯学部、社会歯科学会理事)</p> <p>話題提供 1 歯科医療を広げるための連携 ～病院歯科, リハビリ科の視点から～ 尾崎研一郎 (日本赤十字社 足利赤十字病院)</p> <p>話題提供 2 歯科医療の拡がりのための連携とは ～医科診療所での歯科衛生士の関わり～ 山口朱見 (公益社団法人 日本歯科衛生士会)</p> <p>話題提供 3 看護と歯科医療の関わり -保健師の立場から- 村中峯子 (公益社団法人 日本看護協会)</p> <p>話題提供 4 歯科医療の広がりのための連携とは ～かかりつけの歯科医への期待と地域包括ケアシステムの深化～ 小玉 剛 (公益社団法人 日本歯科医師会)</p> <p>●一般演題 6 題</p>	日本歯科大学生命歯学部 100周年記念館九段ホール (東京都千代田区)
第 1 回	2016 6/12	<p>大会長：尾崎哲則 (日本大学歯学部)</p>	<p><b>新しい歯科医療のあり方を求めて</b></p> <p>●基調講演「介護予防の次なる展開」『オーラル・フレイル』から 飯島勝矢 (東京大学高齢社会総合研究機構)</p> <p>●シンポジウム「2025年、歯科医師は過剰かあらためて問う」 座長：尾崎哲則 (日本大学歯学部、社会歯科学会理事)</p> <p>・報告「歯科疾患の推計と患者需要に基づく適正な歯科医師数」 安藤雄一 (国立保健医療科学院、社会歯科学会評議員)</p> <p>・話題提供 1 大学の立場から 平田創一郎 (東京歯科大学、社会歯科学会理事)</p> <p>・話題提供 2 地域の立場から 小玉剛 (東京都東久留米市歯科医師会、社会歯科学会理事)</p> <p>・話題提供 3 行政の立場から 遠藤浩正 (埼玉県東松山保健所、社会歯科学会理事)</p> <p>●一般演題 6 題</p>	日本大学歯学部大講堂 (東京都千代田区)